

University of Shizuoka Magazine

 静岡県立大学広報誌

No.145

2022.July

# はばたき

特集①

静岡県立大学学生広報大使

特集②

同窓会連合会長 山田 裕嗣さん インタビュー



## CONTENTS

p01 特集① 静岡県立大学学生広報大使

p05 特集② 同窓会連合会長 山田 裕嗣さん インタビュー

p07 CAMPUS TOPICS

- ・障害学生支援に関する基本方針を策定しました
- ・長年の謎、吉井勇の「ゴンドラの唄」の初出を発見
- ・本学薬学部教員が大学発ベンチャー企業を設立
- ・本学公認サークル「静岡学習支援ネットワーク」が静岡市の学習支援事業を受託
- ・大学生・高校生向け読み物「地震と火山と防災のはなし」を刊行
- ・令和4年度入学式を行いました
- ・「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」に選定
- ・2022年度開学記念行事を開催しました
- ・アメラトマトのイノベーションアワード金賞受賞を尾池学長に報告
- ・経営情報学部上原ゼミが「学生が選ぶインターンシップアワード」で入賞
- ・国際学生寮の書
- ・環境生命科学科・研修旅行「西伊豆ジオパークと地域食」
- ・講座開催情報
- ・コミュニティフェローの称号授与及び特別表彰
- ・第36回剣祭・第26回橘花祭 告知

p13 研究室訪問

- ・食品栄養科学部 市川陽子教授

p15 活躍する卒業生 経営情報学部

活躍する在学生 看護学部

p16 産学民官連携

p17 図書館だより

- ・図書館はつながるツール
- ・私の一冊の本

P18 Information

- ・教員・学生の受賞
- ・教員人事



始動! **静岡県立大**  
**学生広報**

Student Ambassador





# 学 大使

o r

本学の魅力や様々な取り組み、大学と地域の繋がりなどを、学生目線から学内外に向けて情報発信し、本学のイメージアップと親近感の醸成を図ることを目的に、「静岡県立大学学生広報大使」を設置しました。9名の学生が、2022年6月10日に初代学生広報大使に就任し、SNSでの情報発信を中心とした広報活動を展開していきます。

今後、皆さんの所にも学生広報大使が取材に伺うことがあると思います。その際は是非、取材への協力をお願いいたします。

今回は、学生広報大使に就任した学生を紹介します。

## 出口 幸映

国際関係学部 4年  
袋井市出身



**Q1 静岡の魅力を教えてください。**  
大学横にある県立美術館には、空きコマや休日を利用してよく行っています。自然に囲まれた素敵な空間です。

**Q2 学生広報大使としてやってみたいことはありますか。**

先輩から後輩への「大学生活のアドバイス」取材をリレー形式で行いたいです。授業から卒論まで、様々なイベントを通じて感じた楽しさや、大変さなどを集約することで、次の学年の方々の参考となれば良いと思います。

**Q3 最後に一言お願いします。**

静岡県立大学の素晴らしさや秘める可能性を、学外の方々はもちろん、本学学生にも気づいて貰えるよう、活動してまいります。

## 滝田 紗恵

食品栄養科学部 4年  
千葉県出身



**Q1 静岡の魅力を教えてください。**  
管理栄養士養成校かつ公立大学である静岡県立大学に入学したいと思い静岡にきました。静岡に来て感じたのは、人の温かさで過ごしやすさです。

**Q2 学生広報大使としてやってみたいことはありますか。**

OB・OGの就職先インタビューをやってみたいです。OB・OGの方にお話を聞くことで、将来やりたいことが見つからない学生の力に少しでもなったり、県大に入ることのできることで、それをどう将来の仕事に生かせるかを知る機会を作れたらいいなと思っています。

**Q3 最後に一言お願いします。**

県大の魅力を多くの人に伝えられるように頑張りたいと思います。

## 山田 美優

国際関係学部 2年  
浜松市出身



**Q1 静岡の魅力を教えてください。**  
草薙には豊かな自然と落ち着いた雰囲気があり、過ごしやすいです。また、富士山がとても綺麗に見えるのも魅力です。

**Q2 学生広報大使としてやってみたいことはありますか。**

クラブ・サークルへのインタビューや各団体の活動紹介動画の作成などを実施し、それをSNSを利用して情報発信することで、県大のクラブ・サークル等の魅力を学内外に向けて伝えたいです。

**Q3 最後に一言お願いします。**

既に入学を考えている受験生だけでなく、地域の人々や全国の高校生に県大の魅力を発信できるよう、精一杯頑張ります。

## 光川 晴香

食品栄養科学部 3年  
愛知県出身



**Q1 静岡の魅力を教えてください。**  
静岡県立大学内および周辺は、鳥の鳴き声や木々の色合いの変化から季節の移り変わりを感ぜられる、自然豊かなところです。

**Q2 学生広報大使としてやってみたいことはありますか。**

各学部での活動から、部活・サークル、行事、先生との交流などについての取材を通して、学生目線からの情報を発信し、静岡県立大学のSNSを楽しく活気あふれるものに盛り上げていきたいと奮起しています。

**Q3 最後に一言お願いします。**

学生広報大使の活動を通して、静岡県立大学の魅力を多く発見し、学内外に発信していきたいです。



# 静岡県立大学 学生広報大使

Student Ambassador



## 八岐 友香

経営情報学部 2年  
島田市出身



Q1 静岡の魅力を教えてください。都会と自然が融合していることだと思います。特に県大の煉瓦造りの建物と緑の調和が綺麗で、過ごしやすい環境だと思います。

Q2 学生広報大使としてやってみたいことはありますか。

静岡県立大学の魅力を、まずは県大生に再発見してもらいたいと思っています。そのために、皆さんに今のイメージ調査を行ったり、県大のおすすめポイントをインタビューしたりして、それを発信していきたいです。

Q3 最後に一言お願いします。

広報大使として、県大の魅力が自分を通してたくさん発信できるよう頑張ります。よろしくお願いします。

## 大内 彩楓

国際関係学部 1年  
茨城県出身



Q1 静岡の魅力を教えてください。県大の緑豊かなところと建物のレンガの作りが好きです。そして、静岡県は観光地がたくさんありとても楽しめるところが魅力的だと思います。

Q2 学生広報大使としてやってみたいことはありますか。

学部ごとの学生の一日を取材したいです。また、先生方と学生との交流を増やしたいです。

Q3 最後に一言お願いします。

県大の魅力をたくさん県内にも県外にも伝えられるように頑張ります。よろしくお願いします。

# 9名の 学生広報大使を 紹介します！

## Woo Wei Jie

国際関係学部 4年  
マレーシア出身



Q1 静岡の魅力を教えてください。静岡県は、都会の便利さと田舎のゆったりとした雰囲気があります！自然に恵まれて暮らしやすい場所です。

Q2 学生広報大使としてやってみたいことはありますか。

留学生として4年間の大学生活をしてきましたが、国際関係学部なのに留学生を一人も知らない日本人学生が多いように感じます。留学生たちの大学生活や静岡に対する思いなど、彼らをもっと知ってほしいです。コロナ禍が収まりつつあり留学生も戻ってきているため、よい機会だと思っています。

Q3 最後に一言お願いします。

静岡県立大学の魅力を伝えていくために、頑張ります！

## 赤澤 芽依

短期大学部 1年  
山梨県出身



Q1 静岡の魅力を教えてください。静岡県に来たのは、広大なお茶畑や自然が多いことと、家族とのドライブでよく訪れていたのが安心感があるから。また静岡の人の性格が穏やかで話しやすい。

Q2 学生広報大使としてやってみたいことはありますか。

(県内にも)短期大学部を知らない人が多いので、橋花祭など短期大学部の魅力を伝えるほか、県外の人達にも県大や短期大学部について発信することで、より活発に周辺地域と繋がっていきたい。

Q3 最後に一言お願いします。

私は静岡に魅力を感じて進学してきました。今、県外から静岡に来ることを迷っている学生の方々、ぜひ一度、静岡県や県大・短期大学部を訪れてみてください。きっと素敵な出会いがあると思います。

## 戸塚 光優

短期大学部 1年  
焼津市出身



Q1 静岡の魅力を教えてください。静岡県はお茶やみかん、さらに水産品などの食べ物豊富であり、また優しい性格で穏やかな方々が多いため住みやすい県だと思います。

Q2 学生広報大使としてやってみたいことはありますか。

短期大学部について知らない人が多いので、その魅力や特徴を多くの人に知ってもらう取り組みや、SNSを活用し高校生に短期大学部の日常風景などがわかるような投稿をしていきたいです。

Q3 最後に一言お願いします。

頼りになる先生方や優しい学生たちと一緒に毎日充実した楽しい大学生活を送っています。この魅力や楽しさをより多くの方々知ってもらうために、これから広報大使として精一杯努力していきたいと考えています。



# 同窓会連合会長 山田 裕嗣 さん

## Interview



2021年11月に全学の同窓会組織である同窓会連合会が発足しました。  
そこで、同窓会連合会発足を記念し、学生広報大使の八峠さんと山田さんが同会の会長にインタビューを行いました。

### Q1 同窓会連合会を発足させた経緯をお聞かせください。

開学30周年の前の年に国際関係学部同期で集まった時、全学の同窓会組織がないのは非常にもったいないので、そんな組織を作っていきたいね、という話が出たんですよね。私もかねてから、卒業生3万人のうちの1万人くらいが静岡県内にいるのだから、学部の枠を外して、もっと卒業生同士が交流できる場が作れればと思っています。

その当時、私の立ち上げた会社が草薙地区に引っ越していて、私も当時の学長の鬼頭先生と面識があったので、全学の同窓会を開催するよう、鬼頭先生に提案しに伺いました。

ちょうど、大学側も全学の同窓会組織がないのはまずいと思っていて、設立の検討をしていたみたいですが、卒業生が相手となるため、大学側からアプローチする手立てがないと困っているようでした。

そんな時に、私が大学に踏み込んだことから、大学側としては“渡りに船”ということで、私が全学同窓会設立発起人を任されたんですよ。

そして、その年の卒業式に御招待いただき、その会場で鬼頭先生から各学部の同窓会長を紹介いただきました。この顔合わせの中で、各学部の同窓会も協力していくので、まずは開学30周年の年に全学の同窓会をやるという話になったんですよ。

### Q2 同窓会連合会を発足させるまでのご苦労をお聞かせください。

全学の同窓会を開催するまでは、私のほか経営情報学部同窓会の会長と副会長のお二人が手伝ってくれたんですが、みんな仕事終わりに私の会社の事務所に集まって、あれこれと準備を進めていく状態でした。同窓会そのものは何十人というOBが参加し大変盛り上がったので、本当にうれしかったけれど、仕事を抱えながら、たった3

人で準備をしていたため、全員が疲労困憊してしまい、“来年の開催は無理か”という状況まで追い詰められてしまいました。

しかし、当時の合田副学長をはじめ多くの方々から、「継続してほしい」という声があったことから、協力者を集めようと同窓会連合会の活動に興味を持ってくれた卒業生に声掛けをしていったところ、徐々に仲間が増えていき、同窓会連合会準備委員会を立ち上げることができました。そして翌年以降、全学の同窓会は、剣祭の時に「ホームcomingデー」と名前を変えて開催を続けています。(残念ながらここ2年は新型コロナウイルスの影響で開催できていませんが…)

この準備委員会がその後、同窓会連合会設立準備会の礎となって、大学側と協力しながら約3年間かけて連合会を設立することができました。





### Q3 同窓会連合会ではどのような活動をしていく予定ですか

静岡県立大学の卒業生の中には、例えば金融機関で10年間勤務した後に、海外青年協力隊での経験を経て、霞が関で働いている女性。海外ダンス留学を経て静岡県内で大きなダンススタジオを運営している女性。林業ベンチャーに取り組んでいる人、日本国籍初のユニセフファシリテーターに合格した人、ASIAのTOPレストラン50に2年連続でランクインしている日本酒&レストランを香港で経営している人など、私が知っているだけでも県内だけでなく国内外で活躍する面白い人材が数多くいます。

残念ながら在學生は、こんな卒業生がいることをほぼ知らないのではと思っています。私もこの活動に関わっていなければ、こ

のような人たちと知り合うことはなかったと思います。だから、同窓会連合会を介して、Webなどを活用し、自薦他薦は問わず、面白い人材を紹介したり、彼らの話を在學生が聞く機会を設けたり、卒業生が経営、就職している企業を紹介したりなど、卒業生同士や卒業生と在學生が安心して交流できる場を提供できれば良いと考えています。

また、卒業生と在學生が共同して行う企画を考えているような、やる気と行動力を持っている卒業生や在學生に対して、同窓会連合会が様々な形で関わり、イベント等を開催できるようにしていきたいと思っています。

### Q4 県大生に期待することは

静岡県は本当に魅力ある所だと思っています。このような土地で学生生活を送って

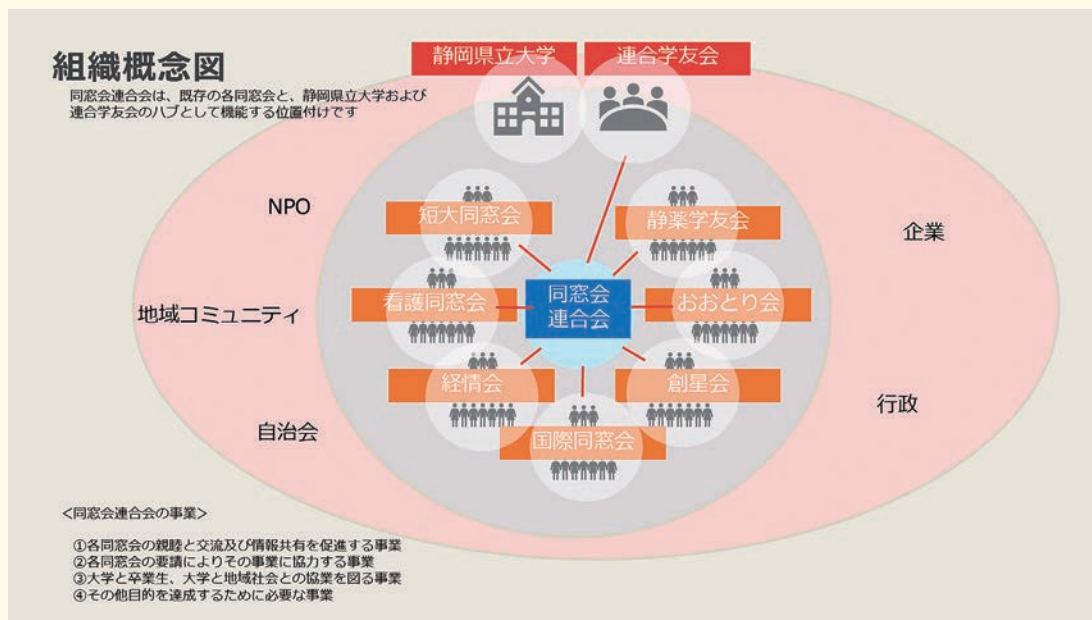
きた県大生には、就職した後も静岡県を忘れないでほしい。広い世界でいろいろ経験するために、海外を含め、静岡県を出て別の土地に行くことは大賛成です。ただ、できればどこかの時点で県立大学や学生時代にお世話になった地域に「恩返しをする」という気持ちを持ってほしいですね。



八峠 友香さん



山田 美優さん



山田 裕嗣(やまだ ひろつぐ)  
1967年(昭和42年)3月9日生まれ  
名古屋市出身  
1991年国際関係学部国際関係学科卒業  
静岡市にある一部上場企業、スター精密株式会社にて23年間のサラリーマン生活を経験した後に、静岡市で自身の会社を立ち上げて起業。現在は県立大学卒業生として、最初の上場企業創業者となるべく、草薙の地で事業の拡大に取り組んでいる。





## ■ 障害学生支援に関する基本方針を策定しました

障害を理由とする差別の解消を推進することによりすべての人が障害の有無によって分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重しながら共生する社会の実現を目指して、2016年4月1日から障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（「障害者差別解消法」）が施行されました。

本学においても、本学職員が適切に対応するために必要な事項を定めた職員対応要領を策定し、障害学生の修学支援を行ってまいりました。

そしてこの度、新たに障害学生支援に関する基本方針を策定しましたのでお知らせいたします。

### 障害学生支援に関する基本方針

- ・本学は、障害を理由とする差別の解消に取り組みます。
- ・本学は、すべての構成員に対し必要な研修・啓発を継続的に実施します。
- ・本学は、障害のある学生が障害のない学生と平等に教育・研究に参加できるような機会を確保し、その個性と能力を最大限に発揮できるよう環境を整え、教育の本質を変えずに教育の提供方法について合理的配慮を行ないます。
- ・本学は、障害学生支援に関わるすべてのことは、学生本人を交えて十分に話し合い、学生本人の意思決定を尊重し、主体的に支援を活用できるようサポートします。その上で、障害のある学生が主体的に社会で活躍する人材へと成長できるよう支援します。
- ・本学は、障害の有無にかかわらず、すべての学生が相互の立場を尊重し、互いに学び合える環境を整備し、共生社会の実現に貢献します。

本学は、今後もすべての学生が健全で快適なキャンパス環境のもとで修学できるよう努力してまいります。

## ■ 長年の謎、吉井勇の「ゴンドラの唄」の初出を発見



掲載誌「新日本」を手にとる細川教授

国際関係学部の細川光洋教授が、長年の間不明だった吉井勇作詞「ゴンドラの唄」の初出が、1915（大正4）年4月1日発行の総合雑誌「新日本」であることを発見しました。

「いのち短し、恋せよ、少女（をとめ）」の歌詞で知られる「ゴンドラの唄」は、森鷗外が訳したアンデルセンの『即興詩人』の一節をもとに歌人の吉井勇（1886～1960）が作詞、中山晋平が作曲したもので、1915年4月末に芸術座公演の『その

前夜』の劇中歌として、女優松井須磨子によって歌われました。

その舞台より以前に作品が発表されていたか否かは長年不明とされ、吉井自身による作品発表が確認できなかったこともあって、底本未詳として全集への収録もされませんでした。

吉井勇研究が専門である細川教授は、同時期の詩歌文芸誌や演劇雑誌を調査してきましたが、今回、当時の首相で早稲田大学の創設者であった大隈重信が関わった総合誌「新日本」を調査、同誌の「文藝附録」の最終頁に、目次記載のない形で「ゴンドラの唄」が載っていることを確認しました。この底本の発見により、これまで伝えられていた歌詞の誤字なども判明、2021年11月27日にオンラインで開催された「明星研究会」での発表で報告しました。

細川教授は、「『ゴンドラの唄』は誰も

が知っている吉井勇を代表する作品、それなのに不明な点が多かった。今回吉井自身の初出オリジナルが見つかったことで、他のテキストとの比較対照などが可能になる。吉井勇研究にとって大きな前進です」と述べました。



「ゴンドラの唄」掲載ページ

細川教授は、著書『吉井勇の旅鞆—昭和初年の歌行脚ノート』（短歌研究社）により第20回前川佐美雄賞を受賞しました。

## 浅井知浩教授が大学発ベンチャー企業（Luna RD株式会社）を設立

2021年12月24日に薬学部薬学科 医薬生命化学分野 浅井知浩教授が自身の研究成果を基に設立したベンチャー企業「Luna RD株式会社」を、大学発ベンチャーに認定しました。

これまで浅井知浩教授は、治療法のない病気を治すことや、副作用や痛みを伴わずに病気を治すことを目指して、必要量の薬物を、必要な時間（タイミング及び期間）、必要な場所（臓器等）に作用させるためのDrug Delivery System (DDS) 技術に関する研究に取り組んできました。近年では、核酸デリバリーシ

ステムの研究を展開し、その中でRNA干渉薬やmRNAワクチンの開発を目的として、pH応答性脂質誘導体を用いた脂質ナノ粒子(LNP)技術を創出し、特許を取得しました。

本ベンチャー企業は、アカデミア発のDDS技術の社会実装と新産業創出による地域社会への貢献を目的として設立しました。今後、本ベンチャー企業では最先端のナノDDS技術を駆使した医薬品・ワクチンの実用化を目指し、製品化のためLNP製剤の処方、規格及び試験方法等の研究開発を行います。



静岡県立大学発ベンチャーの称号を授与された浅井知浩教授

## 公認サークル「静岡学習支援ネットワーク」が静岡市の学習支援事業を受託

2011年に発足した、公認サークル「静岡学習支援ネットワーク（通称：SSS）」は、一般社団法人として登記し、2015年から市内の団体とコンソーシアムを組んで、静岡市の学習支援事業を受託してきましたが、このたび、コンソーシアムを解消し、単独で静岡市から生活困窮者自立支援事業に基づく学習支援事業を受託することになりました。

学生たちは、仕様書にしたがって申請

書を書き、選考のためのプロポーザルには学生（2年生1人、1年生2人）だけで臨みました。その結果、競合もありながら、SSSが見事、静岡市から事業を委託されることになりました。

SSSは、「勉強したくてもできない子どもたちがいます」という問題意識に立ち、静岡市内三か所（葵区、駿河区、清水区各一か所）で、学ぶ機会に恵まれない子どもたちのための学習支援教室を運

営しています。この学生たちの活動が評価され、事業を継続することになりました。

2022年2月から、静岡学習支援ネットワークは、静岡大学においても公認サークルとなりました。2大学にまたがるインカレサークルとして活動していきます。

※学年は選考時点のものです。

## 大学生・高校生向け読み物「地震と火山と防災のはなし」を刊行

グローバル地域センター自然災害研究部門代表の楠城一嘉特任准教授が『地震と火山と防災のはなし』を成山堂書店から刊行しました。本書は、大学生や高校生に日本の自然に興味を持ち、防災の心構えを持ってもらえるように書いた読み物です。

本書のポイントについて著者は、「自然豊かな日本においては、その恵みを存分に享受し独自の文化を育んできた一方、地震や火山噴火などの災害からは目

をそらすことはできません。

将来起きる南海トラフ地震までを視野に、地震、火山のメカニズムから、それに伴う災害への備え、地域での取り組みなどを分かりやすく解説しました。一つ一つの話題を1,000文字前後とし、通学中や隙間時間など気軽に読破できます。そのため、さまざまな世代の方に読んでいただけます。」とコメントをしています。



『地震と火山と防災のはなし』表紙



## 令和4年度入学式を行いました。



新入生代表 国際関係学部 大石彩由さん

4月8日、静岡市駿河区のグランシップで、令和4年度学部・短期大学部・大学院の合同入学式を開催しました。

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、入学式は学生のみのお出向となりましたが、令和4年度入学の学部生671人、短期大学生110人、大学院生

131人、計912人が希望を胸に新たなスタートを切りました。

尾池和夫学長は「静岡県で学習する機会にキャンパスライフを謳歌し、気候温暖で豊かな自然と食材に恵まれ、暮らしやすい静岡県での生活を楽しみ、卒業後にそれを世界へ伝えてほしい」、そして、「大学に入ったら、役に立つ、立たないを考えず、あらゆることを自ら学習すること。失敗もあるが、それらに負けることなく、その都度すぐに立ち直りながら進んでいく強い意志を身につけてほしい」と述べ、最後に「きみはこれから何度もつまづく。でもそのたびに立ち直る強さももっているんだよ」という、ドラえもん

言葉を新入生たちに送りました。

また、新入生を代表し、国際関係学部の大石彩由さんが、「将来は地元で外国人をサポートする職業に就きたい。そのために大学では、国際関係や言語の知識の習得だけではなく、地元についての知識や一人ひとりに対する柔軟なコミュニケーション力を身につけたい」と抱負を語りました。



式辞を述べる尾池学長

## 文部科学省「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」に選定

文部科学省の大学改革推進等補助金「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」に、薬学部から申請した事業が選定されました。

本事業は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、臨床で行われる実習が中止または縮小を余儀なくされる中で、デジタルトランスフォーメーション(DX)等

の手法を活用した教育プランを構築し、実践的な知識を身に付けた医療人材養成を行うことを目的とするものです。

本事業において薬学部では、新たな医療環境に即応できる薬剤師を養成するべく仮想現実(VR)技術とシミュレータを組み合わせた臨場感に富む学習環境を整備します。本事業により構築する

VR体験学習を、医療コミュニケーションやフィジカルアセスメント、臨床実務実習後のアドバンスト教育など、低学年から高学年までの実習・講義に積極的に取り入れることで、タスクシフト/タスクシェアにより高度化する今後の薬剤師業務への対応力を備えた医療人育成に繋がります。

## 2022年度開学記念行事を開催しました



謎解きゲームを楽しむ学生

4月20日は、1987年に静岡薬科大学、静岡女子大学、静岡女子短期大学の3大学が改組・統合して静岡県立大学となり、

第1回入学式が行われた日であり、その日を本学の開学記念日と定めています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、2020年度、2021年度と中止を余儀なくされていた「開学記念行事」が3年ぶりの開催となりました。

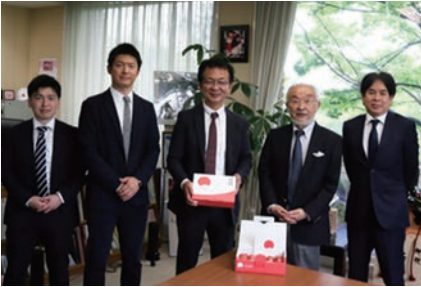
午前は「静岡県立大学同窓会連合会の設立に寄せて」をテーマに開学記念行事シンポジウムを会場とオンラインによるハイブリット形式で開催し、約160人が参加しました。

午後には、静岡県立大学・同短期大学

部の教員が前年度の研究成果を発表する「US(University of Shizuoka)フォーラム」がZoom形式で、また、草薙キャンパス内で新入生歓迎イベント「謎解き脱出ゲーム」が行われ、参加した約60人の新入生が和気あいあいとした雰囲気の中で親交を深めていました。

今回の開学記念行事では、引き続き新型コロナウイルスの流行が続いていることから、感染対策に配慮しながら、実施されました。

## ■ アメーラトマトのイノベーションアワード金賞受賞を尾池学長に報告



記念撮影

経営情報学部の岩崎邦彦教授と株式会社サンファーマーズの稲吉正博社長ほか2氏が、尾池学長を表敬訪問し、「アメーラ®トマト」が2022年4月5日から7日にわたりドイツ・ベルリンで開催されたフルーツロジスティカ(国際的な果物・野菜専門見本市)で、イノベーションアワードの最高賞である金賞を日本で初めて受賞したことを報告しました。

アメーラ®トマト(以下、アメーラ)は、株式会社サンファーマーズと岩崎教授

が連携してブランド化を進め、2018年からスペインに設立した合弁会社において生産されています。アメーラは現在、トマトの本場スペインでもっとも高く売れるトマトになるなど、欧州で高い評価を受けています。

イノベーションアワードでアメーラが評価された点は、アメーラのブランド戦略と生産ノウハウを日本からスペインへ導入し、地元農業協同組合の強みである販売力との融合を行ってきたこと。味については、甘さと酸味と日本の“旨味”の絶妙なバランスや、濃厚な味でスライスするだけで楽しめることが、今までにない驚きを与え、高く評価されました。

尾池学長から「アメーラ」のネーミングについて聞かれた岩崎教授は、「ネーミングはブランドにおける最強の武器。アメーラの音については、ほぼ万国で同

じ発音であり、その言葉自体もどこの国でも悪い意味はない。音感とブランドイメージが調和している」ことを事前に調べて、ブランド化を図ったことなどを説明していました。

日本の人口が減少し、国内市場の縮小が予想される今日、農業分野においても海外マーケット開拓への関心が高まっています。今回のイノベーションアワードで、アメーラトマトが第一位に輝いたことは、日本農産物の海外展開に大きな希望を与える成果となりました。

※イノベーションアワードは、フルーツロジスティカ開催前に欧州を中心に販売された革新的な新商品に対して贈られる賞。2022年は約100点の応募の中から10製品がノミネートされた。アメーラトマトは、4万人を超える来場者の投票のうち、31%の得票率で金賞に輝きました。

## ■ 経営情報学部上原ゼミが「学生が選ぶインターンシップアワード」で入賞

経営情報学部の上原克仁准教授のゼミが「第5回 学生が選ぶインターンシップアワード」(経済産業省、厚生労働省、(株)マイナビなどが後援)に応募、応募総数645プログラムの中から見事、入賞を果たしました。このうち、大学の受賞は4大学で、ゼミ単位での入賞は上原ゼミだけです。

上原ゼミでは、毎年、大学での学びの実践として、さらには県内企業やその魅力を知ることなどを目的に、ゼミ活動の一環で、県内市町の地域課題や県内企業の経営課題の解決に取り組んでいます。今回の受賞は、昨年度、ゼミ生3人が菊川市商工観光課と連携して行った「ふるさと納税、納税額のV字回復」に向けた取り組みに対してのものです。この取り組みでは、単に課題を見つけ改善策を提案するだけでなく、学生が提案内容を自ら実践し、結果を出すことまで学生主体で

行いました。

「学生が選ぶインターンシップアワード」は、学生の社会的・職業的自立に貢献したインターンシッププログラムを表彰する、日本最大級のアワードです。主催者からは、「静岡県菊川市が抱えるふるさと納税の課題解決につながる具体的なアクションプランを検討し実行する6カ月の長期インターンシッププログ

ラム。SNSを活用した広報改善提案や、学生が企画提案を行った新規返礼品が実際に採用され結果納税額も増加となるなど、実践的な内容と地域貢献を実現した模範プログラム」と評価されました。

上原ゼミでは、今年度も、産学官連携を通じ学生の職業観の涵養に取り組んでまいります。



尾池学長に入賞の報告をした際の記念撮影



## 富学寮の書



尾池学長と交換留学生

2022年4月に国際学生寮「富学寮」が開寮し、フィリピン、トルコからの交換留学生を含む、計8人での生活がスタートしました。少しずつ寮の生活に慣れた5月23日に、「富学寮」と書かれた素敵な書が2点、寮に設置されました。

こちらの書は、静岡県森町出身で日本を代表する書家、杭迫柏樹氏の作品で、「富学寮」の文字の背景に雄大な富士山が描かれています。寮の玄関に設置された横書きの大きな書(148×60cm)は、寮生だけでなく、寮を訪れる全ての人とその気高さに目を奪われるような存在感があり、かつ、寮生の生活やこれからの成長を見守っているかのようです。

縦書きの書(33×71.5cm)は、寮生が集うラウンジに飾りました。

5月25日には、書を杭迫氏に依頼してくださった尾池学長が寮を訪問し、「寮生活はいかがですか」、「大学生活は充実して

いますか」など、和やかに学生と会話されていたのが印象的です。今後、この場所が異文化交流を通して寮の愛称のように「学び豊かな(に富む)」生活を送る場所となっていくことが望まれます。



富学寮生集合写真

## 環境生命科学科・研修旅行「西伊豆ジオパークと地域食」



三四郎島のトンボロにてジオパーク研修

2022年5月30日に食品栄養科学部環境生命科学科3年生が研修旅行「西伊豆のジオパークと地域食」で、静岡県賀茂郡の松崎町、西伊豆町を訪れました。現地に到着後、現地ジオガイドであり静岡県立大学「地域みらいづくりフェロー」である佐野勇人氏に、三四郎島のトンボロや天窓洞を案内していただきました。金目鯛、桜葉漬けや本枯れ鰹節といった地

域食材を取り入れた昼食を食べた後、松崎町の「株式会社 松崎桜葉商店」の工場見学をしました。桜葉漬けは、特有の芳香成分「クマリン」の含有量が高い「オオシマザクラ」の葉が使われており、松崎町が全国生産量70%を占める地域特産品になっています。最後に、西伊豆町田子の「カネサ鰹節商店」を訪問しました。ここでは伝統の「手火山式焙乾製法」



カネサ鰹節商店で本枯れ鰹節・潮かつおについての研修

により本枯れ鰹節(「田子節」と呼ばれる)や「潮かつお」を製造しており、鰹節の歴史や製造法のお話をうかがった後、本枯れ鰹節の削り体験、削り節の試食をしました。本研修を通じて、静岡県の自然環境の多様性を肌で感じ、また、その多様な環境に応じた多様な地域食を学ぶことができました。

## 講座開催情報

令和4年度公開講座(オンライン(ビデオオンデマンド)・無料)		社会人学習講座(有料・随時追加)	
①生涯健康(短期大学部)	10月4日(火)～18日(火)	①健康と食	9月3日(土)、10(土)
②Withコロナ時代の観光・まちづくりを考える(経営情報学部)	10月18日(火)～11月1日(火)	②職場の経営学	9月10日(土)
		③顧客を引きつける「食と農」のマーケティング	9月17日(土)
		④法律を読む基本技術	9月26日(月)
③健康と薬(薬学部)	11月1日(火)～15日(火)	⑤Rによるデータ分析入門	10月1日(土)、8日(土)
④自分らしく生きることを支える(看護学部)	11月15日(火)～29日(火)	⑥新規事業とビジネスモデル	10月15日(土)
		⑦都市社会の再構築	10月15日(土)、22日(土)
<b>申込:8月中旬より開始。</b> <b>詳しくは本学HPまたは電話でお問い合わせください。</b> <b>(広報・企画室公開講座担当 054-264-5106)</b>		<b>11月以降も多数開講いたします。</b> <b>申込:本学地域経営研究センターHP</b> <b>または電話でお問い合わせください。(054-264-5400)</b>	

## コミュニティフェローの称号授与及び特別表彰

### 【コミュニティフェロー制度】

地域住民とともに「チーム活動」を牽引する「コミュニティ・ワーク力」を備えた人財の育成を推進するため、「静岡県立大学コミュニティフェロー」の称号を授与する制度を2017年度に創設しました。

2021年度は73名に授与し、うち8名を特別表彰しました。

### 〔特別表彰受賞者一覧〕

学部	学年	氏名	主たる活動内容
薬学部	6年	矢部 晴海	地域健康長寿を担う医療職種の教育
国際関係学部	4年	加藤 花蓮	三保松原の伝承「羽衣」に関する自治体と連携したイベントの企画 ほか
経営情報学部	4年	伊妻 好明	静岡市における個店に対するコンサルティング活動
経営情報学部	4年	横山 紗香	地域における食事の見える化への活用を目的とした食事管理アプリケーションの開発に関する活動
経営情報学部	3年	大石麟太郎	土砂災害や新型コロナウイルスにより影響を受けた熱海市の土産物店を消費で応援する活動
看護学部	4年	辻川 慎乃	若者就労支援セミナーの運営 ほか
薬食生命科学総合学府	修士2年	金澤 千聖	静岡市地域福祉共生センター「みなくる」における共生事業への学生グループによる活動支援 ほか
薬食生命科学総合学府	修士2年	佐藤めぐみ	食育SATシステムを活用した「食事の見える化」に関する活動



## 第36回 剣祭 10月29日(土)・30日(日) 草薙キャンパス

イベントの内容は剣祭実行委員会で検討中ですが、感染防止対策を徹底することにより開催いたします。新型コロナウイルス感染症の流行状況により、開催方法等変更の可能性があります。詳細は大学ホームページをご確認ください。

・ [turugi@u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:turugi@u-shizuoka-ken.ac.jp)

・ <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

## 第26回 橘花祭 11月12日(土)・13日(日) 小鹿キャンパス

短期大学部の大学祭です。例年、学科・専攻の専門性をいかした展示や、クラブ・サークル等による模擬店、橘花祭実行委員会主催のイベントなどを行っています。現在、橘花祭実行委員会において、展示・模擬店の内容について検討を進めています。新型コロナウイルス感染症の流行状況により、開催方法等変更の可能性があります。詳細については、今後短期大学部ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

・ TEL 054-202-2603 (学生室) ・ <https://oshika.u-shizuoka-ken.ac.jp/>





食品栄養科学部 市川陽子教授

**一先生が取り組まれている研究について教えてください。また、現在の研究を行おうと思われたきっかけは何ですか。**

15年以上前、静岡県内の自治体や企業の健診で個別栄養指導を行った際、食生活を変えようとやる気を起こした方が、思うような食事を入手(アクセス)する術がなく、結局挫折するケースに数多く出会いました。調理経験のない男性単身者に多く、どこでも誰でも簡単に、継続的に栄養バランスの良い食事を選べる「食環境整備」の必要性を痛感したことが、今の研究に至った原点です。近年、食品の機能性に関する研究が進み、疾病予防効果が期待されていますが、健康食品などの消費増大の一方で、その長期間にわたる高濃度摂取での安全性、有効性についての知見は十分ではありません。そこで、安全で具体的で、実効のある食環境整備の実現を目指しています。具体的には、食事による機能性成分の効果的な摂取方法、特定給食施設等における効率的・効果的な栄養管理方法、健康的な食事の提供が利用者の満足

度と事業者側の経営状況に与える効果などを明らかにする研究を中心にを行っています。

**一先生の研究が、これからの社会に果たす役割についてお聞かせください。**

1つは、特定の食品や栄養素等成分の摂取ではなく、「食事の質」を基本にした疾病予防効果について社会に発信すること、もう1つは、健康長寿社会の実現を食環境から支える仕組みを提示することです。現在、日本人の飲食料の最終消費額の約8割は加工品と外食が占めており、外食、中食、事業所給食を展開するフードサービス産業が、国民の健康の維持・増進に果たす役割が大きくなっていると考えます。ここに栄養学のエビデンスを正しく活用して、情報と食物へのアクセスをスムーズにし、消費者、産業界、栄養施策の「Win-Win-Win」を叶えることが目標です。

**一研究をしているなかで、学生の成長を感じるのどのような時ですか。**

当研究室では学生の自主性を重んじ、研究計画の立案には力を入れていますが、基礎研究から実装研究まで文献を読み込み、自分で考え抜いて出てきた発想には成長の跡があります。研究成果のまとめやプレゼンにも同じことがいえます。また、企業や行政等との共同研究や事業を行う機会が多いため、これらに関わることで、コミュニケーション力や交渉力、担当した仕事への責任感などが養われているように思います。合同会議での立派な態度やディスカッションに、「いつの間にここまで・・・」と驚くこともあります。





食品栄養科学部  
栄養生命科学科  
4年

浦山 美咲さん



**一ご自身から見て感じる、市川先生の研究室の魅力や、他の研究室にはない特徴についてお聞かせください。**

フードマネジメント研究室の魅力は、科学的根拠の探求と併せて、具体的な食事メニューの開発・提供も行うことができることだと考えます。食品の機能性成分等の研

究が盛んに行われているなか、それを料理・食事に具現化して提供する活動や、マネジメントの視点も交えた研究を行っているため、社会において実践的であるところにやりがいや楽しさを感じています。

**一ご自身が行われている研究テーマについてお聞かせください。**

私は「健康な食事・食環境（スマートミール）」の普及に向けた研究を行っています。企業の健康経営との関連から事業所給食において広がりを見せていますが、新型コロナ禍により食堂の営業状況は変化しています。そこで、スマートミール提供側へのヒアリングによる質的研究を通して、今後の事業所給食の在り方を考えます。また、私自身もマーケティング戦略に基づいたス

マートミールの商品化計画・販売を中食・外食店舗で行います。

**一将来の目標・希望進路についてお聞かせください。**

将来、スマートミールのような健康な食事を提供するお店を開業したいと考えています。アルバイトを通して、食事でも人を喜ばせることにやりがいを感じ、また管理栄養士の専門分野の勉強をする中で、人々に意識せずに健康になってもらえる仕組みが重要であるということを考えるようになりました。自分の夢のためにも、研究を通して「自然に健康になれる」食環境整備についての知識を広げ、方策を考えていきたいと思っています。

薬食生命科学総合学府  
食品栄養科学専攻  
博士前期課程1年  
石橋 弥生さん



**一ご自身から見て感じる、市川先生の研究室の魅力や、他の研究室にはない特徴についてお聞かせください。**

当研究室の特徴は、外部の方と関わる機会が多く、活動が研究室内だけにとどまらないところだと考えます。例えば、私は昨年一年間だけで、猟師、獣医、畜産業者、料理人、県の研究者といった様々な職種の

方にお会いし、一緒に研究や事業を進めることができました。これは、今までの研究室の学外との連携活動が活発であり、各方面の方々とのつながりが豊富だからこそだと思います。

**一ご自身が行われている研究テーマについてお聞かせください。**

私は、静岡県内に生息するニホンジカ肉の食資源化に向けた研究を行っています。昨年の研究では、静岡県内を西部、中部、東部、伊豆半島の4地域に分け、各地域で捕獲されたシカ肉を調査したところ、捕獲地域が異なると、シカ肉の食肉特性も異なることがわかりました。今後は何が原因で食肉特性に違いが生じているのかを解明し、

得られた情報を伝わりやすく消費者に発信することで、シカ肉の消費活動の促進に貢献したいです。

**一将来の目標・希望進路についてお聞かせください。**

将来は、食品企業で企画や商品開発を行いたいと考えています。研究室での活動を通して、他の職業の方に対して交渉やプレゼンテーションを行う力がつき、自分の思いや相手の考えを共有する重要性和、その面白さを感じるようになりました。研究室での経験を十分に活かし、生産者や消費者の方々との関わりを大切にしながら、生活を彩る新たな美味しいものを生み出したいです。



いちかわ ようこ  
市川 陽子 教授

2005年3月徳島大学大学院栄養学研究科博士後期課程単位取得満期退学、その後本学に奉職。博士（栄養学）、管理栄養士。食と栄養・健康の課題について、フードマネジメント、実践栄養学の分野で研究を進めている。食品の機能性（主にフラボノイド類）に着目した食事による生体の抗炎症作用、誰もが健康的な食にアクセスしやすい「食環境の整備」、特定給食施設における適切な栄養管理業務の運営（行政研究）などが研究テーマ。国が進める「健康な食事・食環境（スマートミール）」認証制度の部門責任者、静岡県や各市の食育推進委員、地場産品などを使った製品開発等にも協力している。



# 活躍する卒業生

The graduate who plays an active part



お名前 山岸 祐己さん

卒業学部 経営情報学部 経営情報学科・  
経営情報イノベーション研究科  
経営情報イノベーション専攻  
(2017年3月博士後期課程修了)

勤務先 静岡理科大学 (講師) ・  
理化学研究所 (客員研究員)

**Q1.現在の仕事について、どのような内容かお聞かせください。また、仕事でやりがいを感じるときはどのような時か、お聞かせください。**

現在の仕事は静岡理科大学情報学部コンピュータシステム学科(兼 データサイエンス専攻)の教員です。サービス情報学研究室を立ち上げ、大企業や中小企業と連携し、サービス改善を目的としたデータマーケティングに関する研究を主に行っています。

す。また、授業ではアルゴリズムとデータ構造・プログラミング・情報数学などの科目を担当しており、看護専門学校の統計科目も担当予定です。

**Q2.大学生生活(研究やサークル)で印象に残っていること、今の仕事に影響を与えたことを教えてください。**

他学科の学生と2人組で始めたサークル(いわゆる同人サークル)で動画共有サイトのイベントに参加し、研究室で作成した動画推薦システムを披露したのが大きな転機だったと記憶しています。それをきっかけにIT業界や音楽業界との繋がりができたため、大学の研究が社会でどのように役に立つのかを考えるようになり、サービス情報学という分野に打ち込むようになりました。

**Q3.静岡県立大学に入学してよかったことを教えてください。**

隣の棟が全く違う分野の学部という大学のつくりもあってか、多様な学生が一堂に会する機会が多く、その環境が様々なきっかけに繋がっていると思いました。もちろん経営情報学部内の出会いも貴重なものですが、上記の同人サークルは看護学部の学生と立ち上げましたし、他学部他学年の学生との距離が近いことで常に目新しい出会いがあり、学生生活がマンネリ化することはありませんでした。

**Q4.今後の目標や課題について教えてください。**

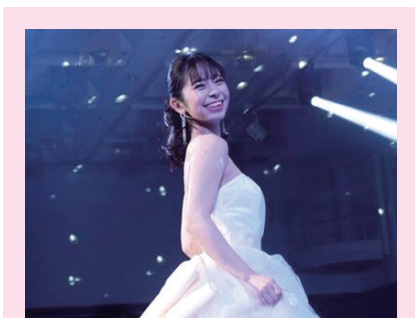
高度IT人材・先端IT人材と呼ばれるような、革新的なサービスを生み出す人材を大学から多く輩出することが目標です。日本は将来的に大規模なIT技術者不足に陥るといわれる問題を抱えており、少子化と相まってこの問題は益々深刻化することが予想されます。これらの課題解決のためには、企業と連携した研究を通して、大学生だけでなく中高生にもサービス情報学に興味を持ってもらうことが重要であると考えています。

**Q5.在学生にひとこと、メッセージをお願いします。**

SNSの普及により、同世代の様々な成功体験を目の当たりにされていることと思います。もちろんこれらの情報は、ある程度の参考にはなるのですが、大学生活で得べきものは大小問わず前例のない成功体験だと考えています。そして、それを得るためには大学内外の人と対等に渡り合える自信が必要となります。その自信を手に入れるためには、大学での学びを極めることが近道なのかもしれません。

# 活躍する在学生

The current student who plays an active part



お名前 松村 優希さん

在籍学部 看護学部・看護学科・4年  
(2019年入学)

**Q1.現在、ご活躍されている分野についてどのような内容かお聞かせください。また、その分野で一番魅力を感じる部分はどこですか。**

私はミスコンテストBEST OF MISS SHIZUOKA 2021でグランプリに選出していただき、静岡代表として2022 Miss University日本大会に出場しました。ステージで輝く姿の裏には数えきれないほどの努力が隠れています。本番の一瞬のステージで感じるワクワクや感動などの溢れ出る感情、一瞬のステージで輝けるようコンテス

タントとしてファイナリスト同士で高め合いながら日々努力する時間は本当に最高で、私はそこが魅力だと感じます。

**Q2.静岡県立大学に入学しようと思ったきっかけを教えてください。**

高校生の頃から、将来は手術室看護師として活躍したいと考えていました。本学看護学部の手厚いご指導のもとで学び、演習や実習を通し、知識や技術を深めることによって、医療の最前線で活躍していきたいと考えたからです。また、学内には看護学部のみでなく、5つの学部がまとまってあるため、サークル活動や様々なコミュニティを通して、交友関係を築いていきたいと考えたため、本学に入学しようと考えました。

**Q3.大学の活動と活動はどのように両立されていますか。**

活動で県外に出なければいけないことも多かったのですが、新型コロナウイルスの蔓延時期と重なっており、県外に行けば2週間自宅待機という状況の中で、1年休学することも考えました。しかし、実習担当の先生が別日に補習を設けて頂いたり、学内演習に振り替えて頂いたり、臨機応変に対応して下さったおかげで、学業と活動の両立ができました。対応して下さった先生方にはとても感謝しています！

**Q4.活動をやっている苦労したこと、そこから学んだことなどあれば教えてください。**

看護の勉強と並行して筋トレやウォーキングの練習の時間を作ることが大変でした。ファイナリストでもあり学生でもあるため、本番直前の合宿中もレッスンを抜けてオンライン授業に参加する場面もありました(汗) しかし活動を通し、広い視野を持つことや一人一人がリーダーとしての自覚を持つことを学びました。何事にも積極性を持って行動する事で、その行動を通して得られるものが増え、それ自体をより楽しめるようになりました！

**Q5.今後の目標や課題、将来の夢について教えてください。**

4年生は就職活動や実習に加え、卒業研究、1月に控えた看護師国家試験、保健師国家試験の勉強が重なり、とても忙しくなります。マイペースな私は、何事も時間がかかってしまうので、まずは効率的に有意義な時間の使い方ができるように努力していきます。将来は手術室看護師として働き、一人の人間として自立しながらも、幸せな家庭を築き、楽しく暮らしていくことが夢です。



## 産学民官連携

本学が取り組む地域貢献、産学民官連携活動による研究成果やイベント等の情報をご紹介します。

### 「令和3年度大学発ベンチャー発掘育成事業」への参加と成果

静岡県内大学発ベンチャー支援協会が行う「大学発ベンチャー発掘育成事業」は、県内の企業数の増加を狙い、県内の大学等で潜在的なビジネス性のある研究シーズを持つ教員や学生に対して事業化への気づき、さらに起業に導くための支援をすることで、県内の大学発ベンチャー創出を促進するものです。今回は、令和3年度事業に参加した薬学部 浅井知浩教授、食品栄養科学部 伊藤創平准教授、唐木晋一郎助教の研究シーズと、6か月間に渡る起業支援で得られた成果について紹介します。

#### <Luna RD 株式会社を起業> 薬学部 浅井知浩 教授

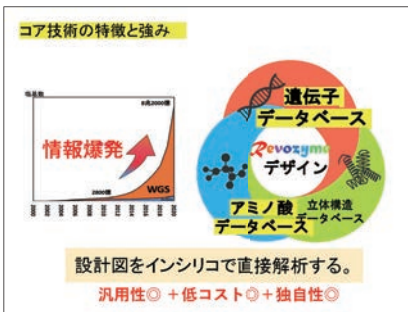
浅井教授は、必要量の薬物を、必要な時間(タイミング及び期間)や場所(臓器等)に作用させるためのDrug Delivery System (DDS) 技術に関する研究に取り組んでおり、近年ではpH応答性脂質誘導体を用いた脂質ナノ粒子(LNP)技術の特許を取得しています。(核酸導入脂質誘導体:特許第7016084号)

本事業では、起業する際の課題であった、創業メンバーの構想・確保や、企業理念、ビジネスプラン等について支援を受け、2021年11月18日にLuna RD株式会社を起業しました。そして同年12月24日には 静岡県立大学 大学発ベンチャーにも認定されました。

Luna RD株式会社では、最先端のナノDDS技術を駆使した医薬品・ワクチンの実用化を目指し、製品化のためLNP製剤の処方、規格及び試験方法等の研究開発を行っています。



#### <起業支援の成果が研究室全体へ波及> 食品栄養科学部 伊藤創平 准教授



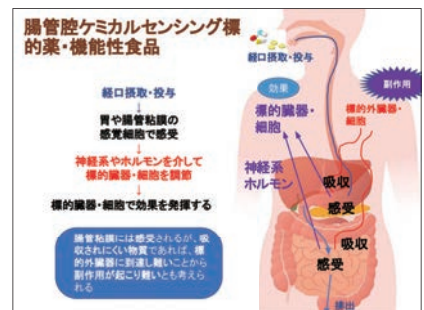
伊藤准教授の食品蛋白質工学研究室では、蛋白質を目的に合わせて機能改変し、応用することを目指し、データベースに登録されている世界中の生物の解析データから膨大な配列情報を機械学習法により網羅的に解析し、人工蛋白質を社会実装可能なレベルまで設計・改良する研究を行っています。

起業支援には、本研究室所属の学生3名が参加し、起業の手法や考え方を学ぶ中で、企業理念を検討する際に「専門分野が違う人に対して、自分たちの研究価値をどのように伝えればよいのか」という課題にぶつかりましたが、参加メンバーだけでなく研究室のメンバーともディスカッションを行うことで、研究室全体で「研究の価値」について考えるきっかけとなり、研究室全体の研究力の向上・醸成に繋がりました。

#### <支援を通して、企業側の目線を得る> 食品栄養科学部 唐木晋一郎 助教

唐木助教は、舌や鼻粘膜だけでなく腸の粘膜にも存在する味覚・嗅覚受容体の生理機能について、食物由来の成分や腸内細菌が作り出した物質を腸管粘膜がどのように感受して、腸だけでなく、他の器官が持つ機能にどのような影響を与えているのか、そのメカニズムの解析を行っています。その応用として、腸粘膜の味覚・嗅覚受容体に対して、副作用リスクを低減化した医薬品・機能性食品の開発を目指した研究を行っています。

起業支援では、企業が持つ様々な素材を唐木助教の研究技術を活用してスクリーニングするサービスを、事業としてブラッシュアップしていくためのマーケティングについて検討しました。その過程が、研究者としての目線だけではなく、企業目線から“企業ニーズ”を考えるきっかけとなったということです。



本学教員の研究内容については本学HPからご覧いただけます。

本学教員との共同研究や受託研究、奨学寄附金にご興味がありましたら、下記のお問い合わせ窓口まで、お気軽にご連絡ください。

#### お問い合わせ窓口

〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52番1号  
静岡県立大学法人 静岡県立大学 地域・産学連携推進室  
TEL:054-264-5124 Email:renkei@u-shizuoka-ken.ac.jp

本学教員の研究内容に関する情報は右図の二次元バーコードからもご覧になれます。



https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/cooperation/cell-laboration/ https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/cooperation/cell-laboration/



# 図書館 だより

## 図書館はつながるツール

附属図書館は2022年1月27日からTwitterを始めました。開館日をはじめ、企画展示、イベントの案内、新しいサービスや図書館の豆知識などいろいろツイートしています。

私たち図書館職員は図書や雑誌などの様々な情報を通じて皆さんの学生生活や学修・研究が充実したものになることを願っています。そして、図書館から生まれる情報で皆さんが様々なモノやヒトとつながり、さらに新しい何か生まれることを期待しています。

3月から草薙図書館、5月から小鹿図書館で実施していた障害学生支援

図書の企画展示(ともに終了)は障害学生支援室とのコラボレーションが実ったものでした。新聞ランチでは静岡新聞社さんと、2キャンパス合同学生選書ツアーではMARUZEN&ジュンク堂書店さんと連携をしてイベントを実施しています。今後もイベントなどを企画し、皆さんにご案内をさせていただきます。

また、図書館からの情報を受け取るだけでなく、皆さんが図書館を利用して発信するのも面白いのではないのでしょうか。図書館は大学の機関リポジトリの管理もしています。1988年分からの学位論文、学内の研究紀要の内容

をできる範囲で発信しています。

ほかにも図書館から発信できる情報がきっとあると思います。それを皆さんが図書館から発信してみませんか。まずは図書館とTwitterでつながりましょう。

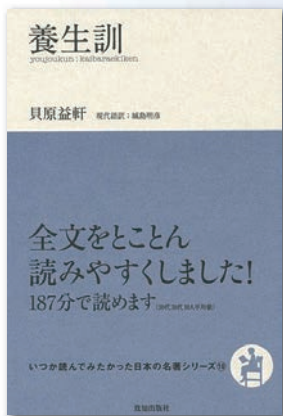
(図書館ではTwitter以外にも、ホームページやWeb学生サービス支援システム(ユニパ)でも同様の情報を発信しています。そちらも是非ご覧ください。)



## 私の一冊の本

紹介者 薬学部 教授 森本 達也

紹介図書 「養生訓」



著者: 貝原 益軒 (現代語訳 城島明彦)

出版社: 致知出版社

I S B N : 978-4-80091-089-9

江戸時代中期に執筆され、以後読み継がれてきた『養生訓』は元祖「健康本」です。著者の貝原益軒は85歳まで生きましたが、なんと84歳の時にこの本を出版しております。当時の平均寿命は記録に残っていませんが、徳川将軍(庶民とは異なります)の平均寿命が51.6歳であることを考えるとずいぶん長生きだと思います。その後平均寿命は延びていきますが、現在の男性の平均寿命はまだ80歳代であり、

貝原益軒を超えていません。

なぜ、三百年も昔に書かれた本書が現代になってもなお注目されているのでしょうか。本書は、ただ、「健康には〇〇がよい」というような内容が書き綴られているわけではなく、「人としてどう生きるべきか、どう在るべきか」ということが書かれています。本書には「当たり前のことを当たり前でできないと心と身体が病気になる。与えられた命と身体に感謝して慎み深く、そして自分の人生を楽しんで生活するべきである」という精神のもと、生活するうえでの心得が全八巻を通して書かれています。

本書では、総論で「天地父母から授かった命」「養生の術の第一は心気を養うこと」「忍」の一字を守れなどを述べ、各論では「食事」「酒」「喫煙」「入浴方法」「医者への選択方法」「薬の飲み方」「養老」「養幼」「鍼」「灸」と日常生活の注意点が記載されています。

庶民だけでなく、将軍家にも愛されたという『養生訓』は、「禁

欲主義」ではなく「寡欲主義」であったからで、益軒は人生を楽しんで生きるための方法を説いているからだだと思います。そういう意味では人としてのあり方を説いた人生哲学書でもあると言えます。

貝原益軒は71歳まで黒田藩に勤め、以後は退任して死ぬまでの間にさまざまな本を書いています。彼の著作の大半は70歳以降のもので、毎年、それも異なる種類の本を出しています。それまでに培った人生の価値観の実演であり、老後を迎えるまでに得た知識やノウハウ、価値観を放棄せず、高齢になってなお努力して形に残したわけです。

85歳で亡くなるまで、虫歯が一本もなく、夫婦で旅行をし、250冊もの本を書いたという益軒の生きざまを書き示した内容に興味がつきません。「養生の術を継続すれば必ず長生きできる」と説き、その見本を自ら示しており、是非、貝原益軒に習ってお読みいただくことをお勧めします。

## 教員・学生の受賞

各受賞の詳細については本学公式サイトでのニュース&トピックスからご覧いただけます。

	受賞者名	所属	受賞名
教員	細川 光洋 教授	国際関係学部	第20回前川佐美雄賞
	横山 紗香	経営情報学部	情報処理学会 第84回全国大会 学生奨励賞
学生	長谷川 凌真	経営情報イノベーション研究科	
	中村 早希	国際関係学部	第31回小泉八雲顕彰文芸作品コンクール 最優秀賞
	大石 真菜	薬食生命科学総合学府	公益社団法人自動車技術会 大学院研究奨励賞
	尾崎 美月	薬食生命科学総合学府	2021年室内環境学会学術大会 大会長優秀学生賞
	杉山 伊吹	薬学部	第37回茶学術研究会講演会 奨励賞
生	西村 有里	食品栄養科学部	第56回日本水環境学会年会 ポスター発表賞（ライオン賞）
	内村 美里	薬食生命科学総合学府	日本農芸化学会 大会トピックス賞

※2022年1月～5月までに本学の公式ホームページに掲載依頼のあった受賞を掲載しています。  
※役職は受賞当時のものです。

## 教員人事

### ◆採用

2022年4月1日

三浦 基靖	薬学部薬学科	講師
村上 光	薬学部薬科学科	助教
浜辺 俊秀	薬学部薬学科	助教
古庄 仰	薬学部薬学科	助教
小林 りか	食品栄養科学部食品生命科学科	助教
藤浪 大輔	食品栄養科学部食品生命科学科	助教
本田 千尋	食品栄養科学部食品生命科学科	助教
伊美友 紀子	食品栄養科学部栄養生命科学科	助教
榛葉 有希	食品栄養科学部栄養生命科学科	助教
野呂 和嗣	食品栄養科学部環境生命科学科	助教
岡本 衆資	食品栄養科学部環境生命科学科	助教
二羽 泰子	国際関係学部国際関係学科	講師
内海 佐和子	経営情報学部経営情報学科	教授
小田 紘久	経営情報学部経営情報学科	助教
長屋 和美	看護学部看護学科	助教

2022年5月1日

村橋 勲	国際関係学部国際関係学科	助教
星 有紀	看護学部看護学科	助教
梁川 明	看護学部看護学科	助教

2022年7月1日

滝田 良	薬学部薬学科	教授
------	--------	----

### ●特任教員

2022年4月1日

山田 浩	薬学部	特任教授
長田 裕之	薬学部薬学科	特任教授
ノールズ ローレンス	言語コミュニケーション研究センター	特任講師

### ◆教員昇任

2022年4月1日

リダン ボール アラン	国際関係学部国際言語文化学科	教授
宮崎 晋生	国際関係学部国際関係学科	准教授
岸 昭雄	経営情報学部経営情報学科	教授
井本 智明	経営情報学部経営情報学科	講師
藤田 景子	看護学部看護学科	教授

### ◆退職

2022年2月28日

宋 復燃	薬学部薬学科	助教
------	--------	----

2022年3月31日

山田 浩	薬学部薬学科	教授
井口 和明	薬学部薬科学科	講師
石川 准	国際関係学部国際関係学科	教授
池田 哲夫	経営情報学部経営情報学科	教授
水野 初	薬学部薬学科	准教授
恒松 雄太	薬学部薬学科	講師
平井 啓太	薬学部薬学科	講師
古島 大資	薬学部薬学科	講師
三宅 正紀	薬学部薬科学科	講師
山口 賢彦	薬学部薬学科	助教
蘇 泓如	食品栄養科学部食品生命科学科	助教
亀山 詞子	食品栄養科学部栄養生命科学科	助教
浅間 哲平	国際関係学部国際言語文化学科	講師
松浦 直毅	国際関係学部国際関係学科	助教
近藤 隆子	国際関係学部国際言語文化学科	助教
松裏 豊	看護学部看護学科	助教
竹田 裕子	食品栄養科学部栄養生命科学科	特任助教
西野 勝明	経営情報学部経営情報学科	特任教授
深江 久代	看護学部看護学科	特任教授
ハーバック ジェームズ	言語コミュニケーション研究センター	特任講師
パリス キンセラ	言語コミュニケーション研究センター	特任講師

2022年6月30日

田中紫茉莉	薬学部薬学科	助教
-------	--------	----

# はばたき

次号146号は2023年2月の発行予定です。

145号 2022年7月29日発行  
発行元/静岡県立大学広報委員会

- 静岡県立大学 教育研究推進部広報・企画室
- 〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1
- TEL/054-264-5130 ■FAX/054-264-5099
- E-mail/koho@u-shizuoka-ken.ac.jp
- URL <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>



### ご意見・情報をお寄せください。

記事に関するご意見・ご感想、今後取り上げてほしいテーマなど、ご要望をお待ちしています。また、本学の学生、教職員の教育・研究活動のほかご卒業生に関する情報もお寄せください。今後の企画の参考にさせていただきます。



広告

**「はばたき」読者限定!**

# 県大生応援キャンペーン!!

2022年 (お申込時にこの冊子をご持参下さい)

7/1金~9/30金までにご入校の方に  
5,000円分の  
**amazonギフト券**を  
**プレゼント!** ¥5,000

さらに **キャンペーン期間中は  
無料でスケジュール作成!**

※普通自動車で入校の方が対象です  
※限定解除の方は対象外とさせていただきます

**古庄は  
特典がいっぱい**

スケジュールコースで  
短期取得可

学科はオンラインで  
受講可能

技能オーバー  
3時限保証

夜間料金無料

免許は取ったけどしばらく  
乗ってないから運転が不安で...

**卒業生特典  
ペーパードライバー講習  
1時間無料**  
※普通車のみ: 2・3・8月を除く

お申込みはフリーダイヤル **0120-155-168** 携帯からでもOK  
※チラシを見たとお伝えください。

**公認 古庄自動車学校**

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄3丁目11番15号  
TEL.054-261-1551  
FAX.054-264-0940  
URL <http://www.flushyou.co.jp>  
Mail [main@flushyou.co.jp](mailto:main@flushyou.co.jp)




## 県大生 向け 卒業式はかまレンタル

毎年恒例の県大生向け 便利な卒業式袴レンタル!

### <県大 草薙校舎内 展示会>

■場所: 草薙校舎 上食堂  
■日時: 10月17日(月)・18日(火)  
両日 11:00~16:30  
グランシップや店舗でも展示会開催!  
詳しくは上食堂2階売店にあるパンフをご覧ください!

**一式当日一**  
草薙校舎で  
着付・ヘア・写真・返却  
【無料バス】草薙校舎ニグランシップ

※感染症による影響で変更の可能性有り。  
※短大生は当店HPをご覧ください。



**京都むらまつ**

■店舗 | 静岡市葵区馬場町25-2 (セノバ徒歩13分)  
■営業 | 9:30~17:00 ※水曜定休・夏休み有「来店予約制」  
■電話 | 0120-144-081